

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report

例会会場：名古屋クレストンホテル  
(TEL：052-264-8000)

例会曜日：木曜日 12時30分  
クラブ会報広報委員長：岩田 宏  
HP：<http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

2024-25年度 R.I.テーマ  
会長：ステファニーA. アーテック



Rotary  
Club of Nagoya Marunouchi

承認  
会長  
幹事  
事務局

1995.03.28  
加藤 豊  
田中 如似  
名古屋クレストンホテル  
1007号  
名古屋市中区栄 3-29-1

TEL 052-263-1324  
FAX 052-263-0730  
E-mail [seinan1@fancy.ocn.ne.jp](mailto:seinan1@fancy.ocn.ne.jp)

加藤 豊 会長 年度目標：30周年を祝おう！ そして新しい時代を迎えるための楽しい体験を積もう！

第1280回 例会 No. 21 令和7年1月30日 (木)

■ローターソング	「それでこそロータリー」
■出席報告	会員45名中18名出席
■出席率	43.90% 出席計算人数41名
■ゲスト	地区学友委員長 金山明史さん 愛知ロータリー学友会 会長 小貝 葵さん 米山奨学生 キム ジ ウォンさん

## 会長挨拶

加藤 豊

皆さんこんにちは。

年末ごろからこっち、インフルエンザの大流行があり、インフルが収まってきたと思ったら今度はコロナの大流行がありました。皆さんは大丈夫だったでしょうか。

本日はゲストとして地区ロータリー学友会会長の小貝葵さんと、地区学友委員長の金山明史さんにお越しいただいております。後程愛知ロータリー学友会設立に関するお話などいただく予定となっております。お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。小貝さん、金山さん、何卒宜しくお願い致します。

さて、COVID-19の影響も日増しに薄くなってきておりまして、インバウンドもかつての活気を取り戻しつつあります。昨日がちょうど春節だったようで、そのせいか一時期減少していた中国人旅行者もずいぶん増えました。昔に比べて中国人の方と接する機会も増えましたので、彼らがどんな人たちなのか私の経験を踏まえて少し語ってみたいと思います。

私が初めて中国の人たちと一緒に仕事をしたのは、1990年代の後半、アメリカに留学した時のことです。当時も今もそうですが、アメリカは世界で一番分子生物学関係の論文が発表されます。そういった論文執筆者の名前を見ると一番最初に中国人、一番最後に米国人の名前が載っていることが多く、これは何を意味しているかというと、米国人のポストの下で働いている中国人が実験をして論文を書いているということです。要するに米国人科学者の役目はお金を集めることで、米国人の研究実績は中国人が働いて作っている、ということです。私が留学した時にはすでに、ほとんどの研究室に大勢の中国人がいて、午後6時を過ぎるとアメリカ人はみんな帰ってしまいますので、そこから



は研究室の公用語が中国語に変わり、あちこちの研究室から出てきた中国人が井戸端会議を開きます。そんな具合でしたから、やがて科学の世界は中国人が牛耳ることになるのではないかと、当時からそんな心配をしていましたが、この数年を見ると私の予想は当たっていたようです。一昨日も中国が米国の1/10の予算とわずか2か月の開発期間で、米国のAIに匹敵するディープシークというAIを開発したというニュースが流れておりました。こういった中国の科学技術力は突然身についたものではなく、1990年代以降、数十年間の米国の繁栄は下働きの中国人が支えていたといっても過言ではなく、その時期に米国で働いていた中国人のうち、かなりの数の優秀な人材が今では中国に帰っているようです。このため、中国の存在感は今でも侮りがたく、台湾海峡の情勢も含め、我が国としては実に油断がなりません。先日もトランプ大統領が「もし中国が台湾に攻め込んだら、関税を100%に引き上げる」と言っていました。これなんかは見方によってはゴーサインとも受け取れますので、とんでもないことになりはしないか、ひやひやしています。米国にいたときに一緒に働いていた中国人によると「中国は昔からよその国に戦争をしかけたことがない、平和を愛する国だ」と主張します。その通りならまあことに結構な事ですが、いやいや、ついこの間まで中越戦争でベトナムに戦争をしかけてコテンパンにやられたではないか、と指摘すると「そんなことは知らない。聞いたことがない。」と言います。要するに彼らは、自分たちに都合が悪いことは一切知らない人たちなのです。太平洋戦争前の日本人も、もしかしたらこんな塩梅で世界の人たちに迷惑をかけたのではないかと、その当時はちらりと思いましたが、今では、こういう隣人たちが巨大な経済力と科学力を持っているので、我が国もゆめ油断なきよう有事に備える必要があるように思います。それでは本日もよろしくお願ひいたします。

## カンボジア事業 有志寄付のお願い

国際奉仕委員長 高坂昌志

本日と来週の例会にて、カンボジア支援事業への有志のご寄付を集めます。ご協力のほどお願いいたします。

カンボジア事業有志寄付  
1月30日合計 41,000円

## ニコBOX

地区委員長 金山明史さん

愛知ロータリー学友会会長 小貝 葵さん

本日卓話に参りました、宜しくお願いいたします。

●本日は卓話に、愛知ロータリー学友会会長の小貝葵さんと地区学友委員長の金山明史さんにお越しいただきました。会員一同、歓迎申し上げます。

加藤会長、田中幹事、黒田、杉江、藤田、後藤、田島、長谷川、川原、八木、恵利、小野、堀江亮介、今村、梶谷、西川、水野、武山（敬称略）

本日合計 39,000 円

## 表彰

ロータリー財団委員長 長谷川龍伸

米山記念奨学委員長 古川 進

下記の方々に加藤会長より記念品を贈呈いたしました。

ポールハリスフェロー表彰 恵利有司さん

第3回米山功労者 武山卓史さん



## 米山奨学金

米山奨学金1月分を、加藤会長よりキム ジ ウォンさんにお渡しいたしました。

### 【ご挨拶】 キムジウォン

皆さんこんにちは。奨学生のキムジウォンと申します。少し遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。

私は年末年始に韓国へ帰国し、友達に会って楽しんできました。日本に帰ってきてすぐインフルエンザにかかってしまい、例会もお休みさせてもらって回復に専念しました。治ってからは、就職活動を本格的に始めています。今年の上半期中には良い結果が得られるように、頑張りたいと思っています。本日も奨学金を支援していただき有難うございます。



## 幹事報告

田中 如以

皆様こんにちは。幹事報告をさせていただきます。まず、本日理事会がありましたのでその報告から致します。IM実行委員会から進捗状況の報告があり、順調に進んでいるとのこと。当日は皆様一人一人に役割をお願いしたいので、後日その件につきまして



ご連絡致します。

2月、IM終了後にカンボジア事業として、藤田さんと高坂さんが現地に訪問されます。

5月には地区事業のRFFが開催されます。一人チケット2枚4000円を分担していただきますのでよろしくお願い致します。

24-25年度グローバル奨学生に選考されました、石川佳瑛さんのホストクラブに当クラブが決定いたしました。

残念なお知らせですが、高橋伸人さんが2月末に退会されることが承認されました。

もう一つ残念なお知らせですが、7月31日をもってこちらの名古屋クレストンホテルの閉館が決まりました。当クラブの例会場は名古屋東急ホテルに変更となります。また、事務局の引越もごさいますので皆様のご協力をお願いいたします。

今後の例会に関しましては、来週2月6日の卓話は武山さんのご紹介で、クラブ歌を作っていただくことになりました。クナイフの内田旭彦さんにお越しいただきます。翌13日は休会、そして20日はIMの開催となります。

最後に、先日ご報告しました補助金事業「いのちの授業」の残金で、シカやイノシシを仕留める罠を寄贈いたしましたのでご報告します。

## 卓話ご挨拶

地区学友委員長 金山明史

地区学友委員会の金山です。本日は藤田ガバナー補佐にこのようなチャンスをいただきまして、貴クラブ例会に訪問させていただいています。私は話が苦手なので、あとは会長の小貝さんにお任せしたいと思います。宜しくお願いします。



## 卓話

愛知ロータリー学友会 会長 小貝 葵

「私のロータリー人生

～ロータリー青少年奉仕活動から

愛知ロータリー学友会設立にいたるまで～」

みなさん、こんにちは。

愛知ロータリー学友会 会長の小貝 葵と申します。

本日は、藤田ガバナー補佐のご好意で、名古屋丸の内ロータリークラブ様にて卓話の機会をいただき、誠にありがとうございます。

私が経験してきたロータリー青少年奉仕活動などを通して、今に至るお話をさせていただければ、と思っています。

本日はよろしくお願い致します。



最初に、自己紹介を。

1998～99年度ロータリー青少年交換学生としてアメリカ派遣。

1999～2000年度第8回RYLAセミナーに参加。翌年、友の会発足時、副会長になぜか就任。途中、レインボーコー、RYLA学友会と名前が変わりながら、約21年在籍。

2003年7月～2012年6月まで名古屋熱田ローターアクトクラブに所属。地区広報やクラブ幹事などを経験しました。ロータリーでの職歴では、2004～2005年度大島年度、2007～2008年度江崎年度ガバナー事務所事務局員、2011～12年度名古屋瑞穂ロータリークラブがホスト時の地区大会事務局、2012～13年度江崎RRFC事務局とし、東京で行われたロータリー財団地域セミナー、メジャードナー午餐会の担当をさせていただきました。2014～15年度 WFFで同時開催されたジャパンロータリーデーイン愛知の事務局として活動していました。

現在は、3人の子どものお母さんであり、この愛知ロータリー学友会会長をやりつつ、民生・児童委員、主任児童委員と、あつた宮宿会会員をやっています。

20代は仕事もプライベートもロータリー一色だった時期もありました。

青少年奉仕活動は、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、青少年交換、RYLAの4つあります。

インターアクトクラブは、15～18歳の子がボランティアを行う団体で、日本は高校の部活動として活動しています。但し、名古屋インターアクトクラブは名古屋YMCA傘下になりますので、いろんな学校の子たちが集まって活動しています。私の高校にはインターアクトクラブがなかったので、未経験です。

青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

現在は派遣・受け入れ先にヨーロッパが多くなってきていますが、当時は、ブラジル、オーストラリア、台湾、フィンランド、アメリカ、カナダの6か国でした。

実は、お恥ずかしながら英語は得意ではなく、成績もよくなく、留学する意欲もなく、小学校から女子校で、箱入り娘の内弁慶、わがまま娘だったものですから、一人で海外へ行くなんて考えられませんでした。当時ロータリアンだった祖父に「行きなさい」と言われ、自分のことなのにまるで他人事のようにされた感満載でアメリカへ行った記憶があります。

しかし、振り返ると、そこでの経験は、日本では体験できない、贅沢なことばかり！

当時は目の前のことをこなすのに必死で残念ながら感動も感激もありませんでした。

もし、留学することを悩んでいる若者がいたら、「絶対行った方がいい！」とおもいきり背中を押します。

行く前、英語ができなかった私が派遣先の地区大会でスピーチをしたり、オクラホマ州議員会館でのインターンシップ体験、サンダルで友だちとグランドキャニオンを歩いて、西海岸でみんなとはしゃぎまくり、一人で買い物もへっちゃらで、ユニバでは困っている日本人にみずから声をかけに行くという。友だちとはしゃぐことも自ら声をかけることもできなかった私が、ですよ。行く前と行った後では180

度変わったのです！！

…といっても、アメリカでやっていくには自らアクションを起こさないと生きていけないので、それが自然と身についただけ、なんですけどね。なので、帰国後、友人らは「変わった」といいますが、自分自身が「変わったな～」と自覚するまでにだいぶ時間がかかりました。

帰国した年度の3月にRYLAセミナーに参加。

このRYLAセミナーとは、ロータリー青少年指導者養成セミナーといい(Rotary Youth Leadership Awardの頭文字をとってライラと読みます。)、14～30歳までを対象として、地元RCや地区によって開催されます。最も多いのは、リーダーシップの力を引き出すこと、創造性のある問題解決力を養うなど、さまざまなトピックのプレゼンテーション、アクティビティ、ワークショップなどを含む、3～10日にわたるイベントです。第2760地区は1泊2日が主流となっています。

当時のRYLAセミナーは1つの分科会の中で15歳～30歳の人たちが口の字に座って、時間内にテーマにそったディスカッションを行うというものでした。18歳の子が25歳前後の大人に「異議あり！」とはなかなか言えず、また楽しいという記憶もなかったです。

翌年、流されるように友の会に入ってしまう、その後活動をしていく中、アメリカでのRYLAセミナーを体験したことをみんなにも体験してほしいと、第11回RYLAセミナーでBBQとアイスブレイクを企画しました。失敗してしまいましたけど、それ以降、RYLAセミナーではいろんなアイデアの企画が出され、BBQも当たり前になり、テーブルを口の字にして座ったままずっと話し合うだけのセミナーではなくなりました。

RYLAセミナーの企画・運営、当日の裏方をメインとしてやっていく中で、たくさんの人と出逢いました。現学友委員長の金山さんと出会ったのもこのRYLAです。

今は地区委員会がセミナーをホストしていますが、以前はロータリークラブがホストしていたので、本当に多くのロータリアンの方々とこのRYLAで出逢い、今でもつながっていて、ロータリーが繋ぐ縁は素晴らしいものだとよく感じています。今日も皆様にお会いできた縁に感謝します。ありがとうございます。

ローターアクトの出逢いは、先ほどお話しした初めてBBQを企画した第11回RYLAセミナーでして、同年7月名古屋熱田ローターアクトクラブに入会しました。

ローターアクトとは、18歳以上の人たちが集まって、地域社会のリーダーと意見交換をしたり、リーダーシップと専門的なスキルを育んだりしながら、楽しく奉仕活動を行っています。スポンサーとなるロータリークラブが奉仕のパートナーとしてローターアクトクラブを導き、支援します。

今はロータリークラブと同等の扱いを受けていますが、昔は、30歳までと年齢制限があり、提唱ロータリークラブから補助金をいただいて活動していました。

私が新入会員の時に、クリスマスパーティでHIPHOPダンスをやったり、20周年の懇親会で司会を務めるなどしました。当時は、職場ではもちろんのこと、個人だけではなかなかできない非日常的なことを企画・運営させてもらえることに嬉しさ、楽しさ、そして、重圧と責任がありました。

チラシを1つ作るにしてもミリ単位のこだわりを、文書や記

念誌などを出す際も一字一句確認し、わからないことはロータリーアンさんにお伺いするなどし、様々なイベントを行ってきました。

当時の名古屋熱田メンバーは妥協を許さず、個性を許し、割とスパルタだったので、その時に培った経験は今でも活かされています。アクトで出会った仲間たちは10年以上たった今でも仲間ですし、良き友でもあります。

さて、ある日、当時青少年交換でお世話になった方の話題をフェイスブックに投稿したら、同期から久しぶりに連絡があり、「私は青少年交換で人生が変わった。もし卓話とかそれらを話す機会があったら教えてほしい」と…。

また、ある時、インターアクトクラブの子から「ローターアクトクラブに入りたいけど、どこに問い合わせればいいかわからない」と相談を受けました。

たまたま現役のアクターと知り合いで繋げることが出来ましたが、ありそうでない横のつながりにふとした疑問を感じました。

横のつながりが保たれていて、ガバナー事務所に聞かずともスムーズにいくハブみたいなものはないだろうか？

もっと私たち学友の存在をロータリー側に知ってもらえたら、何かの助けになるのではないかな？

そんなことを考えていた矢先、学友会設立の話が舞い込んできました。

この愛知ロータリー学友会が設立される前、2760地区には既に、米山学友会、財団学友会、RYLA学友会、そしてROTEXが存在していました。

ROTEXは青少年交換学生を修了した者を表していて、派遣候補生→交換学生→帰国生→ROTEXと名称が変化していきます。私もROTEXの1人になります。

米山学友会は、東京にある米山記念奨学会により一括管理されており、奨学生期間が修了したと同時に自動登録される流れだそうです。

RYLA学友会を例外として、それぞれの学友会は横のつながりはほぼありません。現役も同じです。

それぞれ内容も性質も異なるためかもしれませんが、例えば、ROTEXの子が海外の大学、大学院へ行く際ロータリー財団の奨学金制度があることはあまり知られていません。それってもったいないと思いませんか？

例えばグローバル補助金の7つの重点分野に当てはまっていたら、返金なしで奨学金を受け取ることができるんですよ。私はロータリーを200%活用した方がよい！と思っています。

学友と現役が繋がっていれば、学友と学友が繋がっていれば、有益な情報を得ることができる。

また、学友は元ロータリーファミリーであるため、1から説明しなくても既にあるロータリースキルを活かすことができます。

新しく何かを作り出すより、過去にロータリーが投資した人材を活かす時が今来たのではないかと。

そんなことを思い描きながら、愛知ロータリー学友会を設立いたしました。

私とともに活動していた仲間を中心に、RYLA学友会会長、米山学友会役員、ROTEX会長、財団学友会会長と各団体からも選出いただき、2023年12月13日にRI認証を受け、2024年5月11日、第1回ロータリーフードフェス

ティバルにて認証伝達式が行われました。



これからのこと、現在、3か年計画を考えております。

今年度は、知ってもらおう事。出来立てほやほやで活動報告もできない状態ですが、まずはできたことを2760地区のみなさんに知っていただく。様々なところで顔を知ってもらおう。たくさんの点を作り、

線を繋げていきます。

次年度は、魅力ある学友会を発信する手段として、イベントを行う。

内容は未定ですが、必要経費を除き、チャリティとしてやりたいと考えています。ローターアクトでいいいますと、ウォークインブルーであったり、明後日行われる平和の音色コンサートみたいなイメージですね。ただ、企画側は40歳以上のメンバーが半数以上のため、若者が求めている「大運動会」はもう少し後になるかと思えます。

また、イベントを行うにあたり、メンバーの交流を行いつつ、会員増強へと繋がれたら、と考えています。メンバーは6つの分野それぞれから来ているので、ROTEXだけドアクトを知らない、財団学友だけ他を知らない、などお互いを知り、こういう人がいるならあの人を呼んでみようかな？という連鎖へつなげていけたら、と考えています。

そして次々年度、3年目は、2年目でやったことを繰り返し、流れを定着しようと思っています。

これらをやりつつ、各団体や学友との交流も行い、理想である、『学友と現役が繋がり、学友と学友が繋がり、情報を得ること、仲間を増やすこと、何かのキッカケになる関係づくりを行っていき、ロータリーへ恩返しとして補助的な何かサポートを行える』、そんな学友会を目指していきたいです。

ロータリーの功績は本当に素晴らしいものです。どうかロータリーの皆様も、お金を出したらおしまい、ではなく、支援した彼ら彼女らのその後を知っていただき、もし可能であれば交流していただけたら、と思います。

今後とも愛知ロータリー学友会をよろしく願いいたします。

本日はお時間いただき、ありがとうございました。

## 第8回 理事会議事録

日時 1月30日 12:00～

場所 名古屋クレストンホテル例会場

出席者 加藤、後藤、恵利、藤田、黒田、小野、

田中、IM 実行委員会 長谷川、武山

30周年実行委員長 田島(敬称略)

議題:

1. IM 実行委員会より報告
2. カンボジア視察の日程報告
3. ロータリーフードフェスティバルチケット購入の件
4. 2024-25 年度選考 クローバル奨学生決定の件
5. 退会承認の件 高橋伸人さん 2月末日付
6. 2025.7.31 クレストンホテル閉館決定の報告  
事務局移転の件 参考資料
7. その他